

科目名	仏教史（日本）					単位	2.0
担当教員	藤村 潔						
授業形態	講義	開講期間	後期	配当年次	1	授業番号	2239

●授業のテーマ

日本仏教思想史を学ぶ

●到達目標

東アジア仏教とは主に漢字文化圏を示す。インドで興起した仏教が東アジアへ伝播し、中国や朝鮮半島、日本へと展開した。本講義では主に日本仏教思想の形成過程を歴史的に尋ねていく。インド・中国には無い日本独自の仏教教理や信仰が明らかになる。

●学習内容(授業概要)

日本仏教を思想的に学ぶとは、まず諸宗派の成立と教えを全体的に見通すべき必要がある。どの宗派が歴史的に早く誕生し、また、そこからどのような思想家たちが次々に登場したのかを理解しておく必要があるからである。本講義では日本仏教を広く概観するため、たびたび原典資料を紹介し、その読解を試みる。

●学習内容(授業計画)

《後期》

1. 東アジア仏教の特質—漢字文化圏の受容と変容—
2. 日本の仏教伝来
3. 飛鳥仏教—聖徳太子と仏教—
4. 奈良仏教—南都六宗の成立—
5. 平安仏教①—最澄と空海の仏教—
6. 平安仏教②—台密思想の形成と草木成仏説—
7. 平安仏教③—天台本覚思想の形成—
8. 鎌倉仏教①—末法到来と専修思想—
9. 鎌倉仏教②—禅と唱題—
10. 鎌倉仏教③—正統と異端—
11. 中世仏教—仏教教団の展開—
12. 近世仏教—国学者の仏教批判—
13. 近代仏教①—井上円了のキリスト教批判—
14. 近代仏教②—村上专精の仏教統一論—
15. 近代仏教③—田中智学の日蓮主義—

●準備学習・事後学習の内容

各週に配布した資料をA4ファイルに保管しておくこと。講義では聞き慣れない仏教用語を多く用いるため、常に仏教学や仏教史の辞書、年表、漢和辞典（電子辞書）などを参照してもらう。よそ事をしながら受ける程この授業内容は容易ではない。原典を客観的に考察し、正しい仏教の学び方を身に付けてもらう。

●成績評価方法・基準

平常点（小テストを含む）50% 学期末試験 50%

●テキスト（必携）

授業時に指示。

●参考文献／その他

- ・鎌田茂雄『八宗綱要―仏教を真によく知るための本―』（講談社学術文庫 2006）
- ・末木文美士『日本仏教史―思想史としてのアプローチ―』（新潮文庫 2008）
- ・末木文美士『日本仏教入門』（角川選書 2014）
- ・立川武蔵『最澄と空海―日本仏教思想の誕生―』（講談社選書メチエ 1998）
- ・立川武蔵『日本仏教の思想―受容と変容の千五百年史―』（講談社現代新書 2007）
- ・梯信暁『浄土教思想史―インド・中国・朝鮮・日本―』（法藏館 2012）
- ・菱輪顕量『事典・日本の仏教』（吉川弘文館 2013）

●履修上の注意

目につく私語・授業妨害は退室してもらう。